

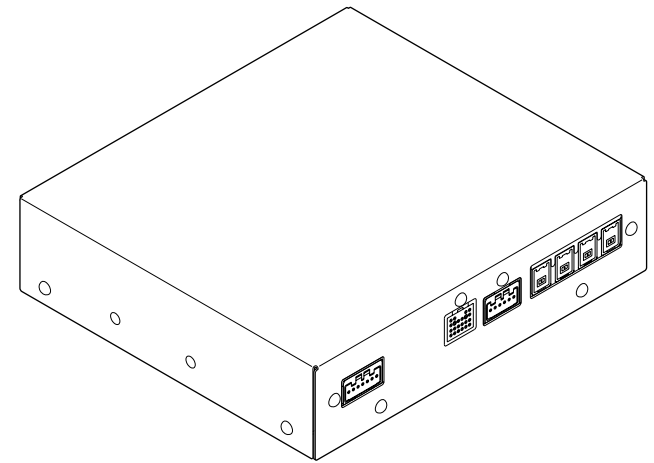
MITSUBISHI

三菱車載用ワンセグ対応地上デジタルTVチューナー

形 名

TU-200D

取付要領書



ご注意とお願い

- 取り付けおよび接続作業の前に「取付要領書」をよくお読みの上、正しく作業を行ってください。

製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示とともに取り扱い上の注意点を記載しています。絵表示は次のような意味を示しています。

正しい取付け
正しい操作で
安全運転



警告 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると人が傷害を負う可能性が想定される内容を示しています。



してはいけない「禁止」の行為を示します。



必ず実行していただく「強制」の行為を示します。



「注意」(警告を含む)を示す内容を示します。



警告

安全上お守りいただきたいこと

取り付け・配線について



24V車で使用しない

- 本機はDC12Vアース車専用です。大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車などの24V車で使用しないでください。火災などの原因となります。



運転操作を妨げる場所に取り付けない

- 前方の視界を妨げる場所や運転操作を妨げる場所など運転に支障をきたす場所、同乗者に危険を及ぼす場所には取り付けないでください。交通事故やけがの原因となります。



エアバッグ動作を妨げる場所には取り付けない

- エアバッグシステム装備車の場合は、エアバッグシステム動作の妨げになる場所に取り付けないでください。交通事故の際、エアバッグシステムが正常に機能せず危険です。



禁止

保安部品のボルトやナットは使用しない

- 車体のボルトやナットを使用して機器を取り付けたり、アースをとるときは、ステアリング、ブレーキ系統やタンクなどの保安部品のボルトやナットは絶対に使用しないでください。これらを使用しますと、事故や発火の原因となります。



注意

燃料タンクなどに穴をあけない

- 車体に穴をあけるときは裏側に何も無いことを確かめ、燃料タンクなどに穴をあけないように注意してください。また配線を傷つけないように注意してください。



実施

バッテリーを接続したまま配線しない

- 配線作業中は、バッテリーの⊖端子を外してください。⊖端子を外さずに作業するとショート事故による感電やけがの原因となります。



禁止

タコ足配線しない

- 電源コードの被覆を破って、他の機器の電源を取ることは絶対にお止めください。コードの電源容量をオーバーし、火災、感電の原因になります。



実施

コード類はまとめておく

- コード類は運転操作の妨げとならないよう、まとめておくなどしてください。ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどに巻き付くと危険です。



実施

規定容量以外のヒューズを使用しない

- ヒューズが切れたときは、規定容量(アンペア数)のヒューズと交換してください。規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災の原因となります。



実施

すべての電装品の動作を確認する

- 取り付けと配線が終わったら、すべての電装品が元通り正常に動作することをお確かめください。正常に動作しない状態で使用すると火災や感電、事故の原因となります。



分解禁止

分解、改造はしない

- 機器を分解したり、改造しないでください。事故、火災、感電の原因となります。



禁止

B-CASカード挿入口に異物を入れない

- 火災や感電、故障の原因となります。



注意

安全上お守りいただきたいこと

取り付け・配線について



実施

本機の取り付け・配線には、専門技術者に依頼する

- 取り外し、取り付けには専門技術と経験が必要です。安全のため必ず“お買い上げの販売店”に依頼してください。



禁止

本機を車載用として以外は使用しない

- 感電やけがの原因となることがあります。

ご注意とお願い つづき



説明書の指示に従い配線する

- 「取付要領書」の指示に従い配線してください。正規の接続を行なわないと、火災や事故の原因となることがあります。



高温になる所へは取り付けない

- 熱の影響を受けやすいヒーターの吹き出し口の近くには取り付けないでください。機器が加熱し、火災の原因となることがあります。



通風孔や放熱板をふさがない

- 機器の通風孔や放熱板をふさがないでください。通風孔や放熱板をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。



指定以外の部品を使用しない

- 必ず付属の部品を指定通り使用してください。指定以外の部品を使用すると、機器内部の部品をいためたり、しっかりと固定できずに外れたりして危険です。



コードのはさみ込みに注意する

- 車体やねじ部分、シートレール等の可動部にコードをはさみ込まないように注意してください。断線やショートにより、事故や感電、火災の原因となることがあります。



コードの被覆を傷めない

- 車両部品のバリ（部品加工時にできる鋭利な突起）や鋭利な場所にコードが接触する場合は、コードの被覆を傷めないように必ずクッションテープなどで保護してください。火災や感電の原因となることがあります。



本機を不安定なところに取り付けない

- 本機を振動の多いところなど、しっかりと固定できないところに取り付けしないでください。走行中に機器が落下するなどして、事故やけがの原因となることがあります。



エアバッグ装着車は、車両メーカーの注意事項をよく確認する

- エアバッグが誤動作する原因となることがあります。



アンテナは車長、車幅からはみ出さない

- アンテナはエレメントが車幅または、車の前後からはみ出さない場所を選んで取り付けてください。歩行者などに接触して思わぬ事故の原因となることがあります。



アンテナは、確実に固定する

- テレビアンテナの取り付け場所は、きれいに拭き取ってください。また、フッ素樹脂コートされたボディ、ガラス及び再塗装されたボディに両面テープで貼り付けしないでください。走行時の振動等でアンテナが外れて落下し、思わぬ事故の原因となることがあります。



アンテナコードの車内への引き込みには十分気をつける

- 雨、水が車内へ浸水すると車内を汚染し、火災の原因となることがあります。



水のかかるところやほこりの多いところへは取り付けない

- 雨が吹き込むところなど、水のかかるところや湿気やほこりの多いところへの取り付けは避けてください。機器内部に水や湿気、ほこりが混入しますと発煙や発火の原因となることがあります。

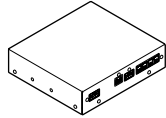
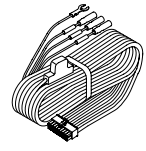
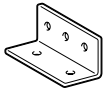


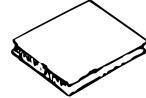
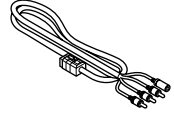
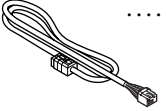
接続方法

アンテナの取り付けかた

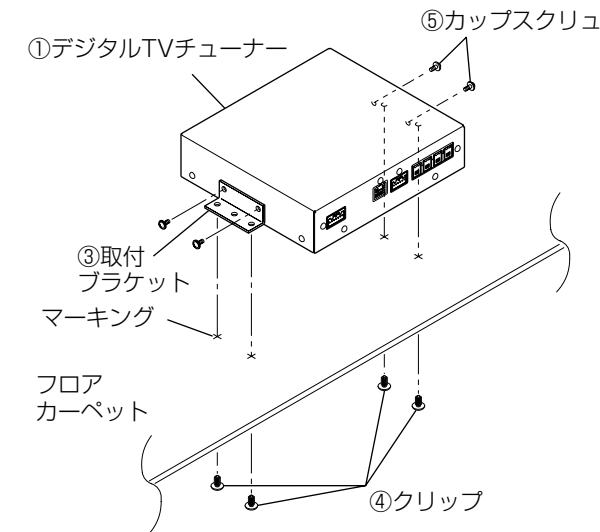
本製品同梱のアンテナ取付要領書をご参照ください。

デジタルTVチューナーの取り付けかた

■構成部品

①デジタルTVチューナー……1 	②電源コード……1 	③取付ブラケット……2 	④クリップ……4 
⑤カップスクリュー……4 	⑥面ファスナー……2組 	⑦AVCケーブル（映像・音声ケーブル）……1 	⑧専用BUSケーブル（映像・音声・通信ケーブル）……1  地上デジタルTVチューナー標準装備のナビゲーションシステムに同梱

取付ブラケットを使用して固定する場合

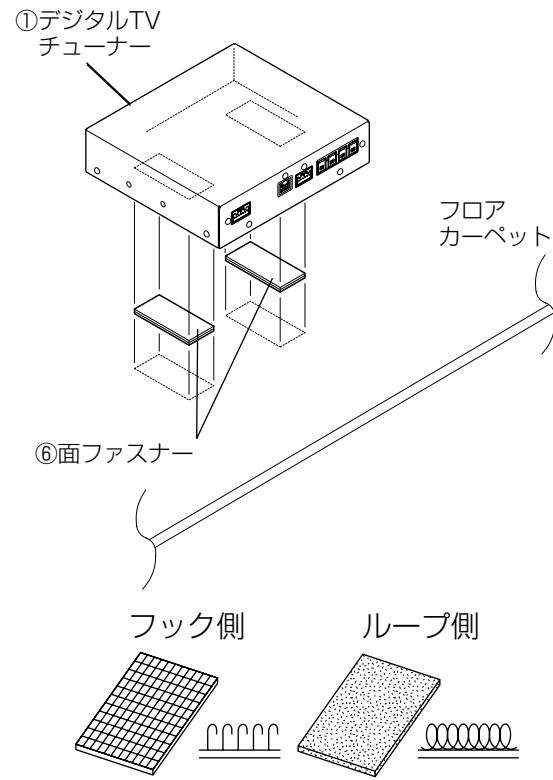


- ①デジタルTVチューナー側面に③取付ブラケットを⑤カップスクリューで固定します。
- フロアカーペットに、ペンなどでマーキングします。
- マーキングしたところを、カッターナイフなどで十字に切り込みを入れます。
④クリップ先端を切り込みより通し、取付ブラケットの穴に通し、①デジタルTVチューナーを固定します。

！ご注意

付属のB-CASカードが挿入、取り出しできるように位置決めしてください。P18▶

面ファスナーを使用して固定する場合



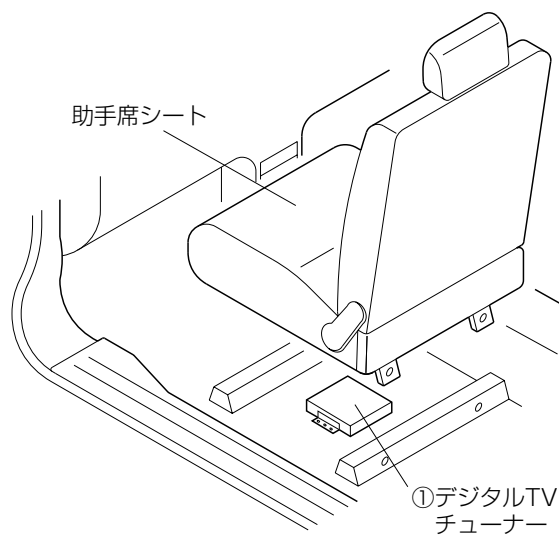
- ⑥面ファスナーのフック側のセパレーターをはがし、①デジタルTVチューナー底面（両端）に貼り付けます。
- ⑥面ファスナーのループ側のセパレーターをはがし車両側に貼り付け、①デジタルTVチューナーを固定します。

！ご注意
 付属のB-CASカードが挿入、取り出しできるように位置決めしてください。
P18

<⑥面ファスナー（付属）>
 フロアカーペットに毛足がある車両では面ファスナーの両面テープが効かないことがあります。その場合は、面ファスナーのフック側のみ使用しフック面をフロアカーペットに貼り付け、本体を固定してください。

■助手席シート下への取付例

記載されている取付例は、一例です。詳細については、お買い上げの販売店または、最寄りの地区別サービス店（別紙サービス店名簿）へご相談ください。

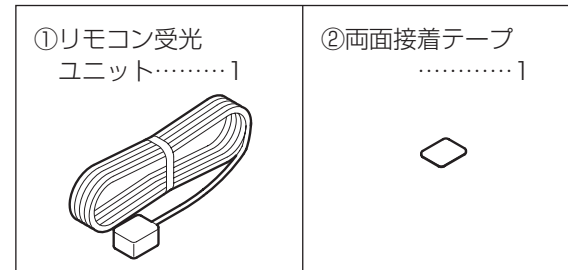


！ご注意

- 急ブレーキ、急ハンドルなどにより、本機が移動すると危険です。シート下への取り付けは確実に行ってください。できる限り取付ブラケットとクリップを使用して固定してください。
- フロアカーペットの毛足が長いタイプの場合、面ファスナーの粘着剤が効かないことがあります。この場合、面ファスナーのフック側のみでフロアカーペットへ固定してください。

リモコン受光ユニットの取り付けかた （地上デジタルTVチューナー標準装備のナビゲーションシステムは除く）

■構成部品

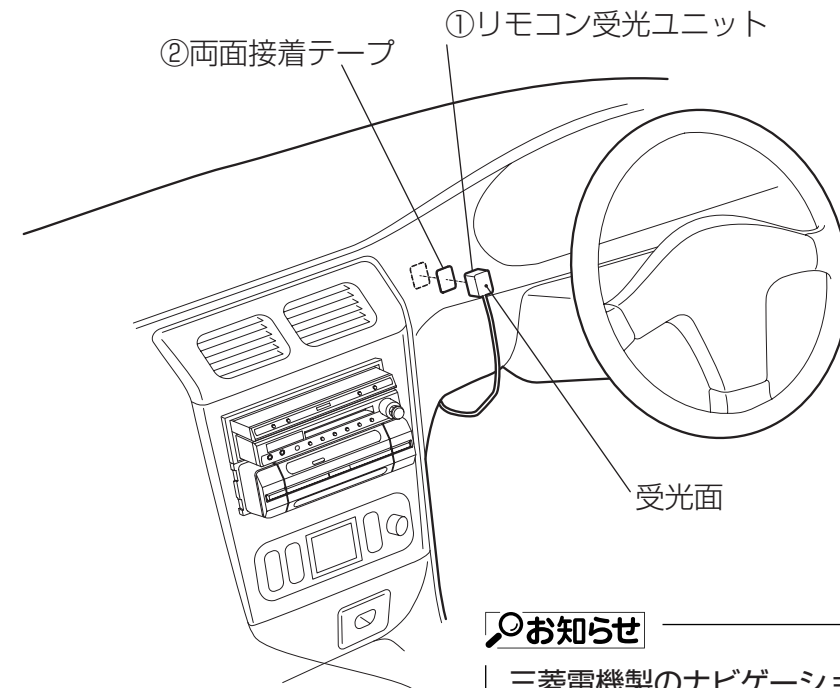


！ご注意

①リモコン受光ユニットは直射日光が差込まない場所へ取り付けてください。直射日光が入るとリモコンが効かなくなることがあります。

ダッシュボード及び助手席の下などに付属の②両面接着テープで貼り付けてください。両面接着テープを貼り付ける面は、きれいに汚れをふきとってください。

①リモコン受光ユニットはAVCケーブルのミニジャックに接続します。
 ①リモコン受光ユニットの接続について **P8~13**

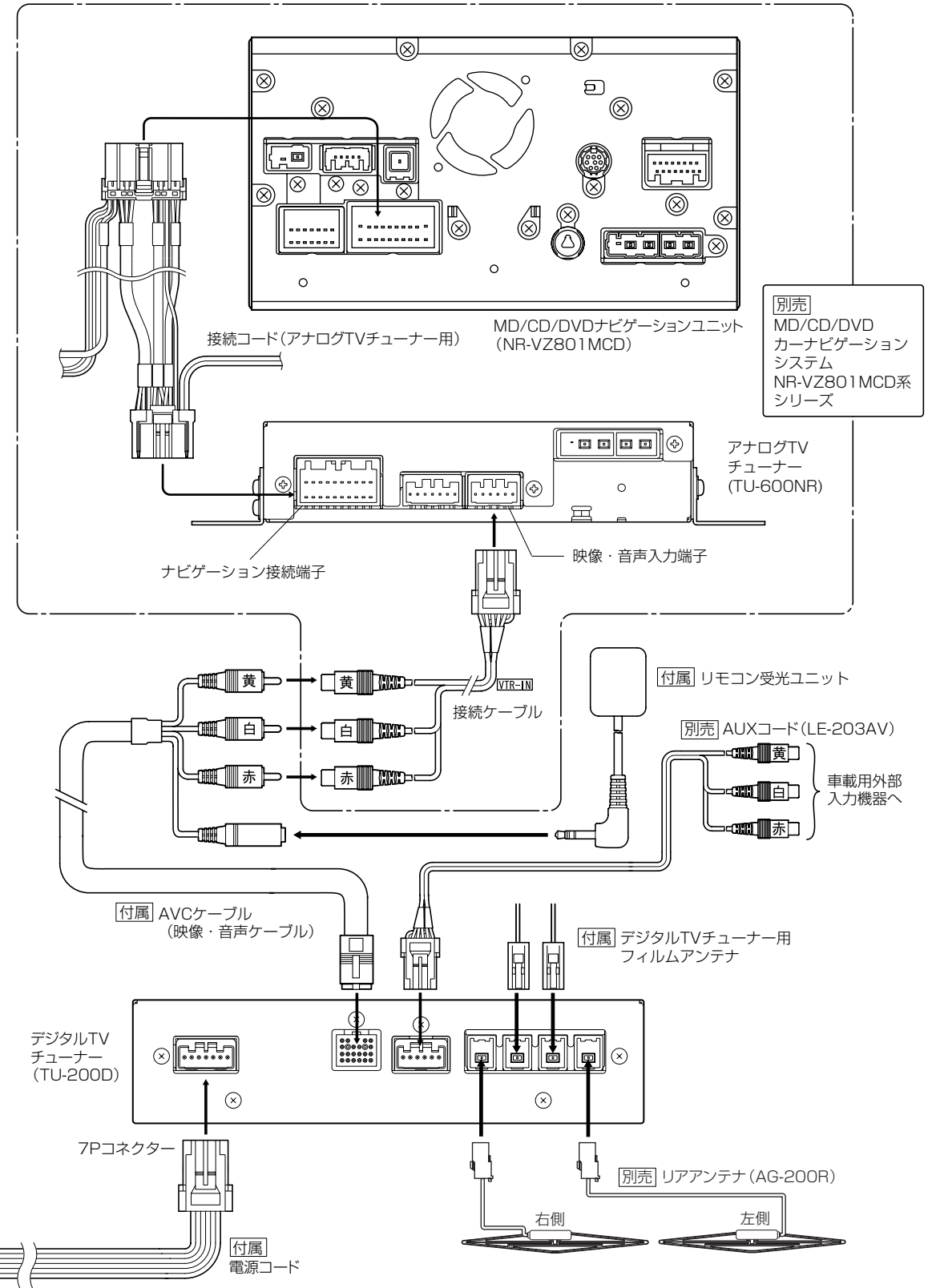
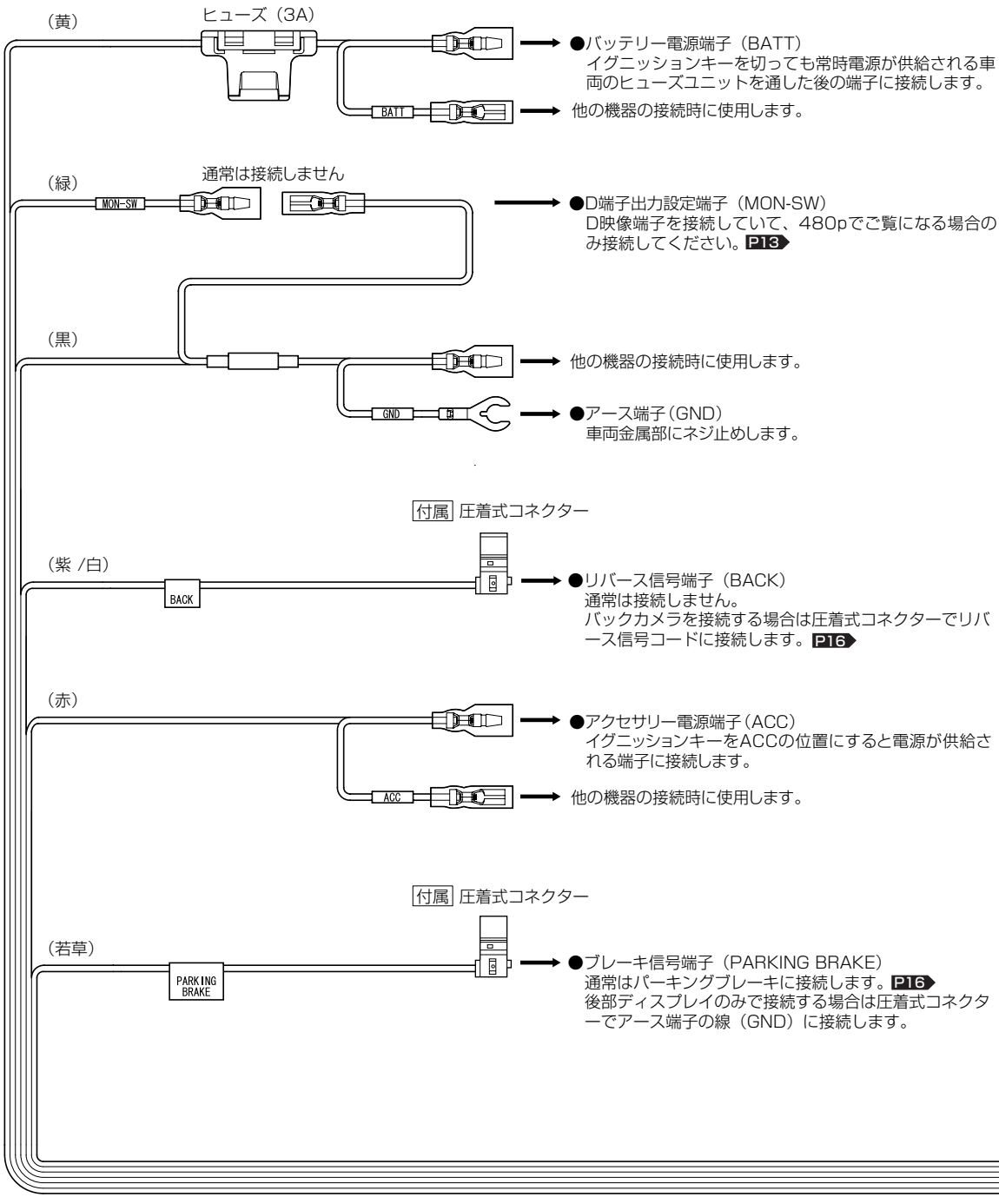


○お知らせ
 三菱電機製のナビゲーションと専用BUSケーブルで接続時はナビゲーションに受光部が内蔵されているので①リモコン受光ユニットは使用しません。**P14**

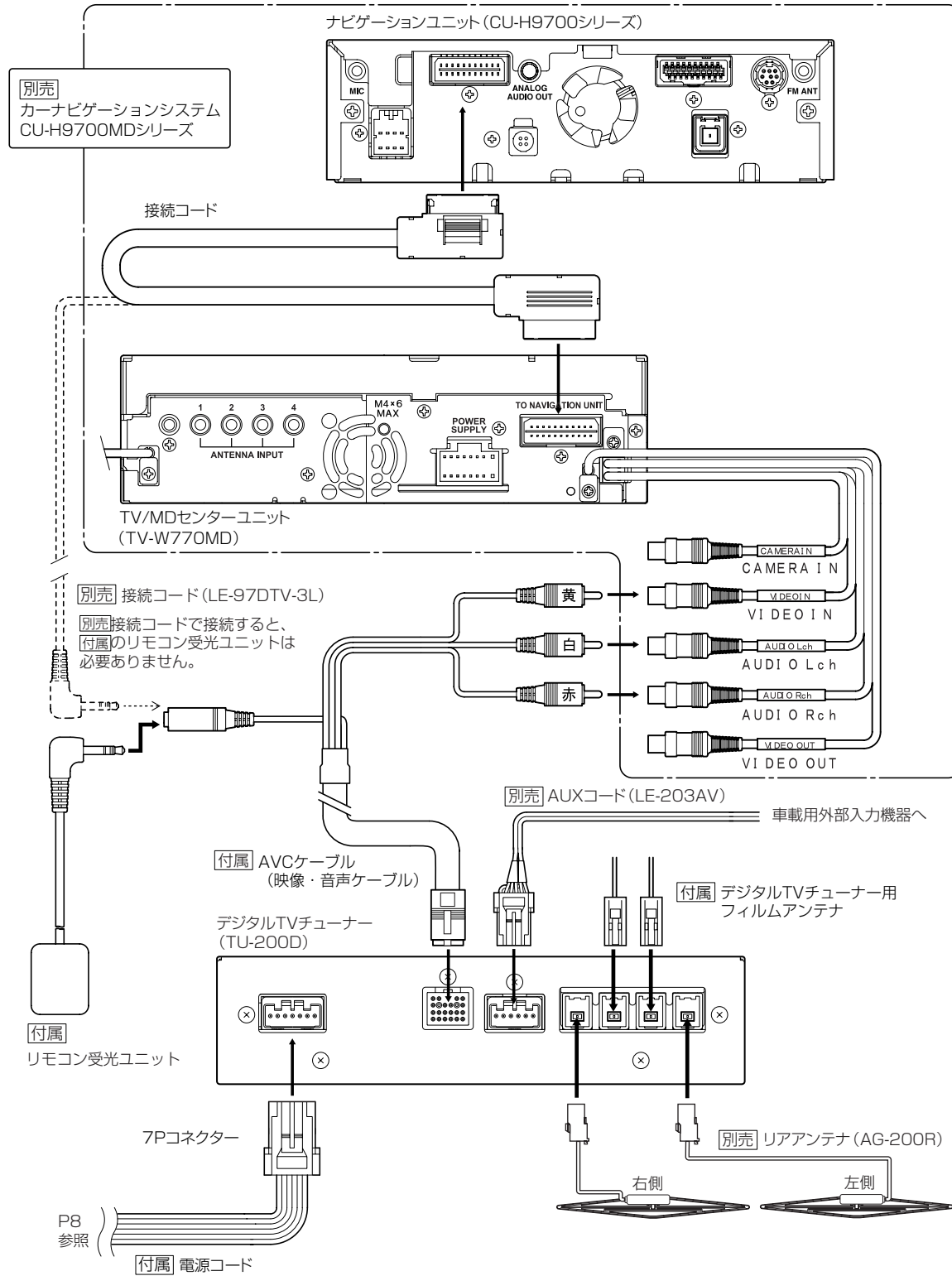
接続方法 つづき

接続機器の電源などの配線は、それぞれの機器の取扱説明書をお読みにになり、正しく配線してください。

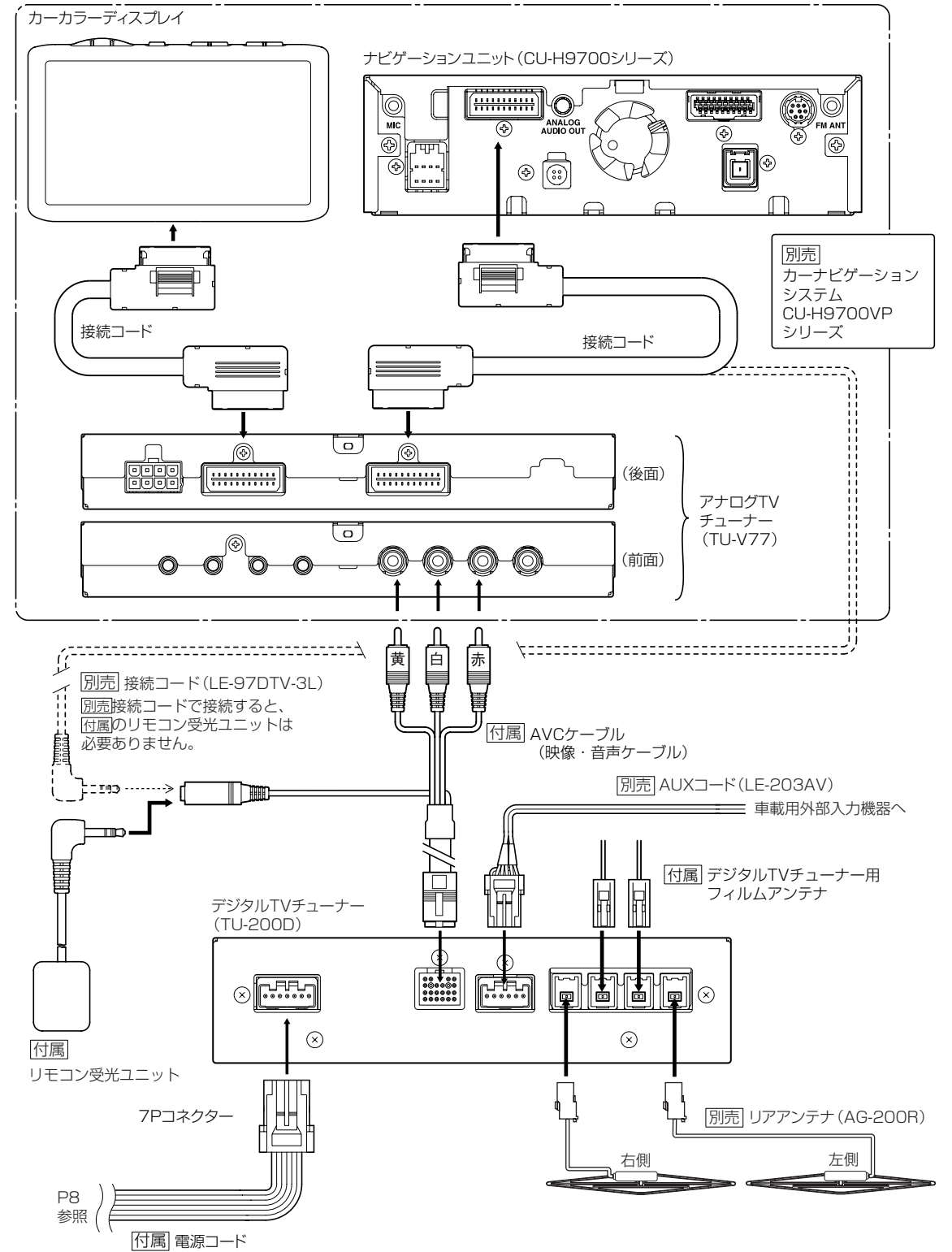
カーナビゲーションシステムNR-VZ801MCDとの接続



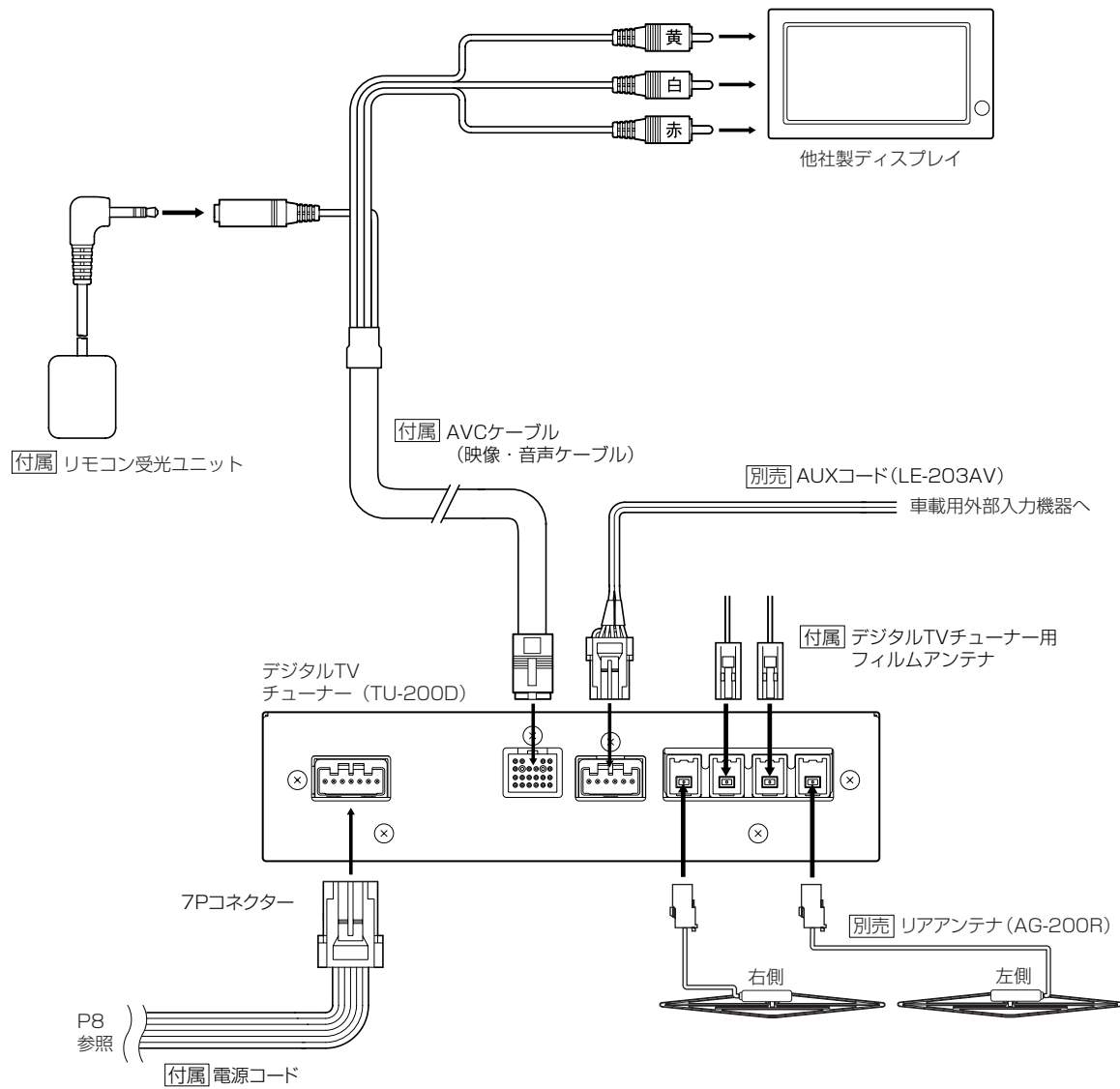
カーナビゲーションシステムCU-H9700シリーズ(MD)との接続①



カーナビゲーションシステムCU-H9700シリーズ(VP)との接続②



他社ディスプレイとの接続

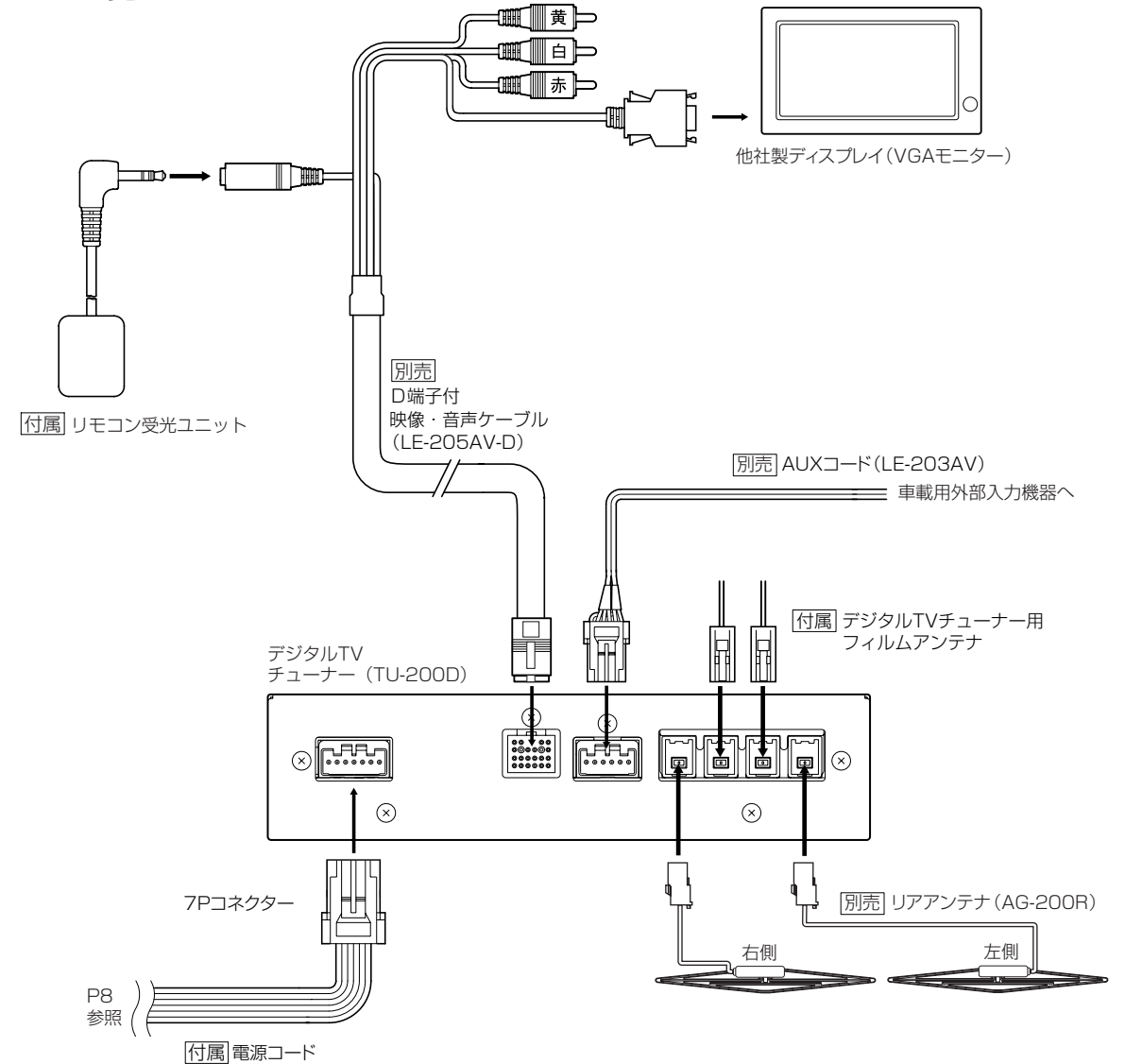


お知らせ

後席のみでディスプレイを使用する場合は、付属の電源コードのブレーキ信号端子をアース端子の線（GND）に接続します。 **P16**

他社ディスプレイとの接続（D端子接続）

※480i（D1相当）、480p（D2相当）の切り換えについては、8ページをご覧ください。



お知らせ

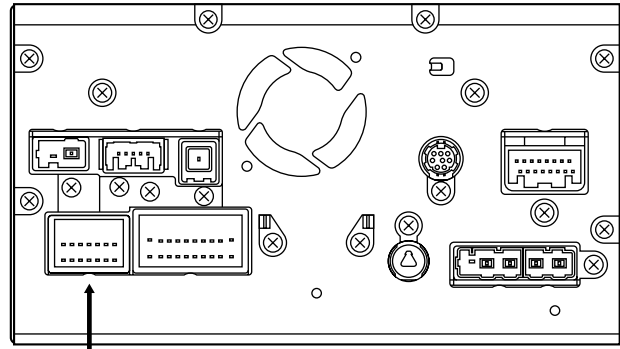
480i（D1相当）：インターレース^{*1}でご覧いただけます。
480p（D2相当）：プログレッシブ^{*2}でご覧いただけます。
※どちらの設定でもRCA映像出力も同時にご覧いただけます。

※1 奇数ラインと偶数ラインの2回の走査に分けて画面表示を行います。この方式は、従来の標準画質テレビで採用されています。
※2 1回の走査で画面表示を行なうことで、画面のちらつきを抑えることができます。この方式は、ハイビジョン対応の高画質テレビなどで採用されています。

カーナビゲーションシステムNR-HZ700CDシリーズとの接続

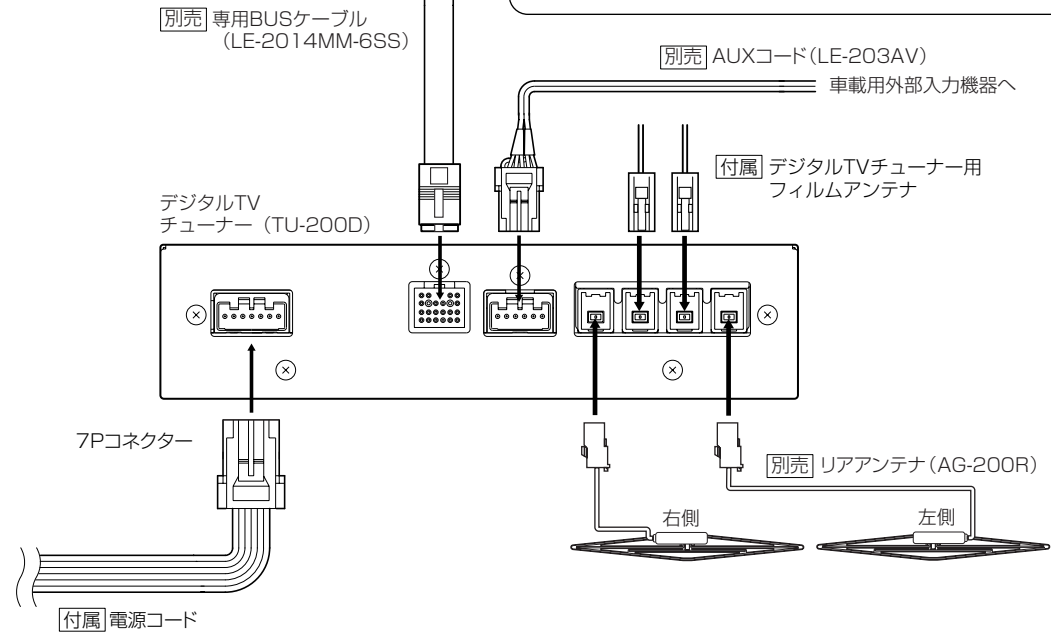
別売の専用BUSケーブルで接続する場合

ナビゲーションユニット(NR-HZ700CDシリーズ)



お知らせ

ナビゲーションシステム (NR-HZ700CD) と接続する場合は、付属のAVCケーブルのかわりに別売の専用BUSケーブル (LE-2014MM-6SS) で接続します。別売の専用BUSケーブルで接続すると付属のリモコン受光部は必要ありません。



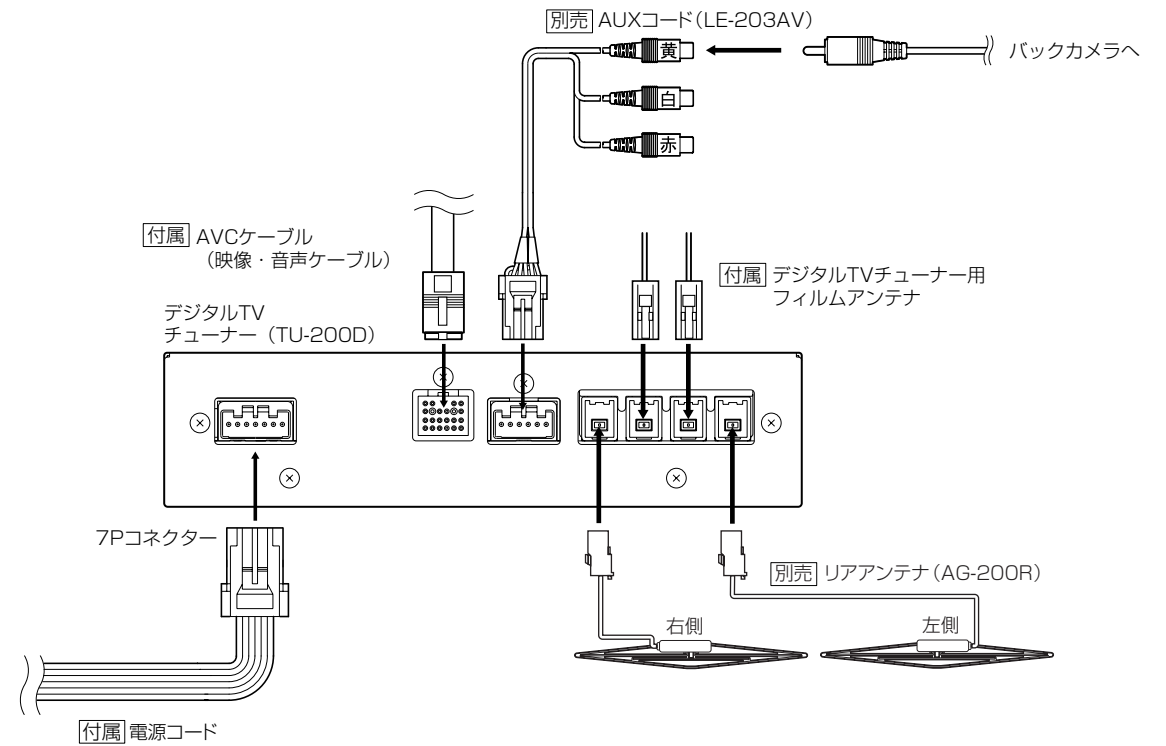
バックカメラとの接続

本機にバックカメラを接続する場合は別売のAUXコードの黄 (映像) 端子にバックカメラの出力端子を接続します。

お知らせ

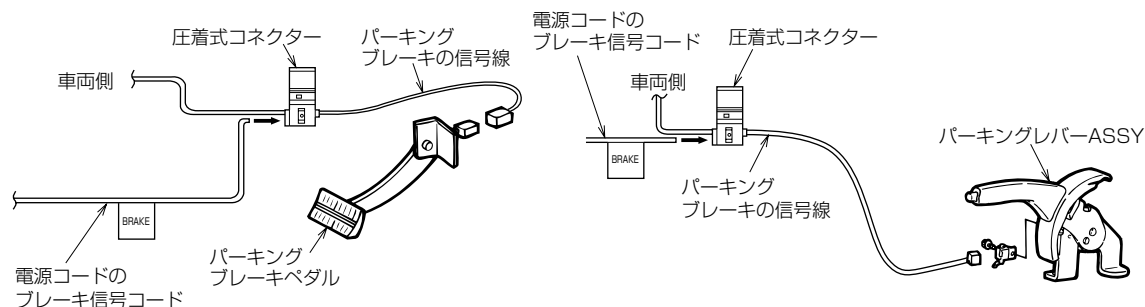
バックカメラを接続する場合は必ずリバース信号端子を車両のリバース信号コードに接続します。P16

バックカメラの映像を表示するときは、ナビゲーションシステムやディスプレイの入力切換を本機に切り換えてください。



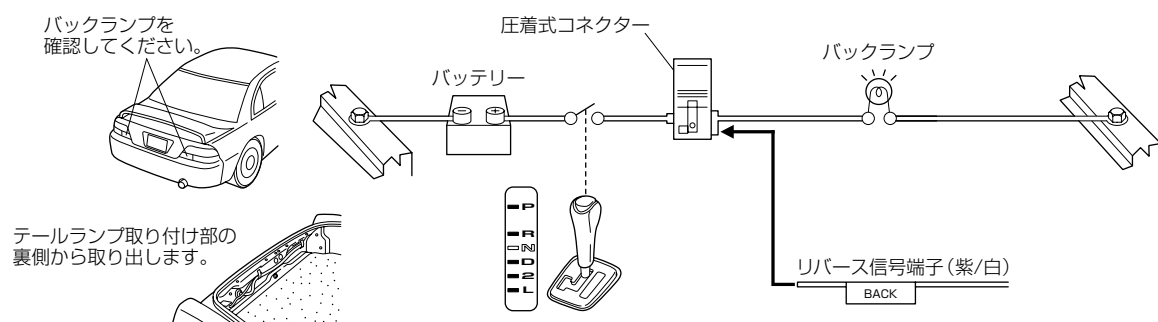
ブレーキ信号の取り出しかた

パーキングブレーキの信号線の位置は車両によって異なります。下記は代表的な例です。詳細については、最寄りの地区別サービス店（別紙サービス店名簿をご覧ください）へご相談ください。



リバース信号の取り出しかた

チェンジレバーをリバース（R）に入れたとき点灯するバックランプ（後退灯、透明のレンズが付いたランプ）のプラス線にリバース信号端子（紫/白）を接続してください。



圧着式コネクタの使いかた

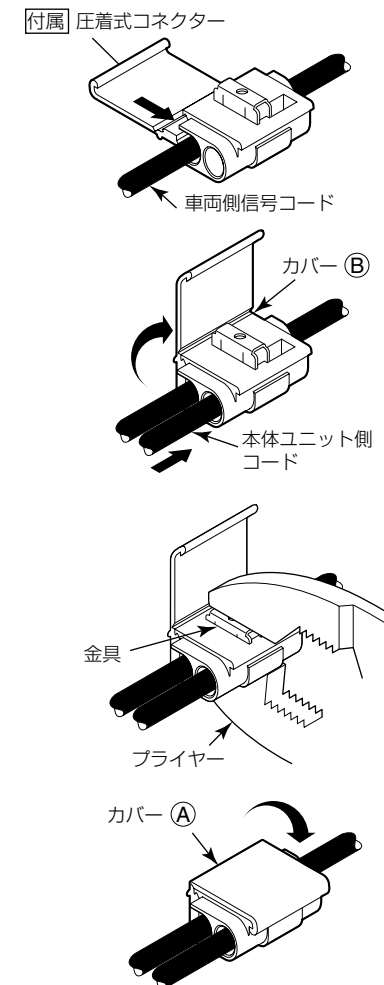
1～4の手順で取り付けを行ってください。

1 車両側信号コードから信号を取り出す位置を決め圧着式コネクタ内に通す。

2 カバー②を折り返し指でパチンと音がするまで確実に押し込む。本体ユニット側コードの先端を圧着式コネクタに差し込みます。
（側面に当たるまでコードを差し込んでください）

3 上面の金具をプライヤーなどではさみ込み車両側信号コードと本体ユニット側コードを固定する。
（コードが外れないように確実に固定してください）

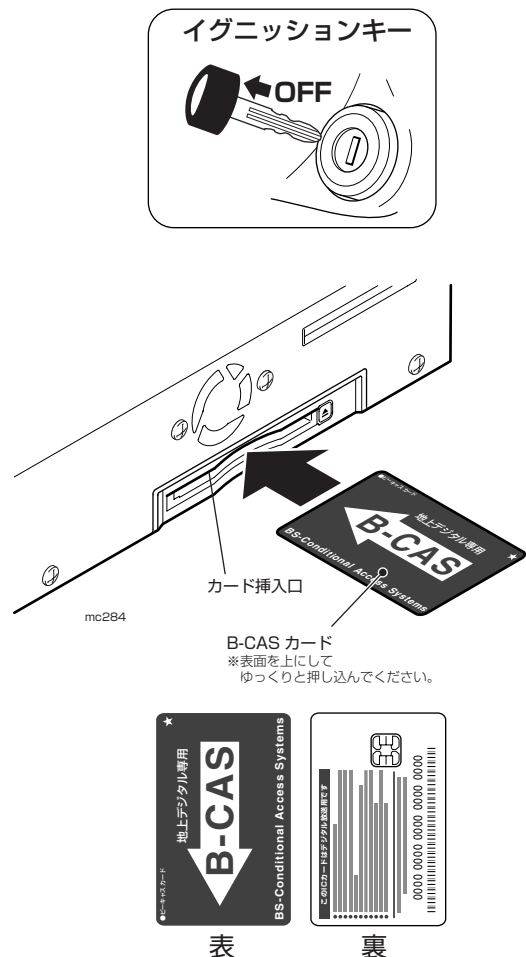
4 カバー①を折り返し指でパチンと音がするまで確実に押し込む。



動作チェック

接続確認のしかた

本機および接続する映像機器の操作方法は、各機器の取扱説明書を参照してください。



- 1 車両への取り付け、および配線作業終了後、車両のイグニッションキーがOFFであることを確認します。
- 2 B-CASカード表面を上にして、デジタルチューナー本体にゆっくり挿入します。

！ご注意

B-CASカードはパッケージを開封することで「B-CASカード使用許諾約款」に同意したとみなされます。

- 3 車両のイグニッションキーを<ON>または<ACC>にし、リモコンの電源ボタンを押し、本機の電源を入れます。
- 4 映像機器の表示を本機に切り換えます。
- 5 本機の初期設定を行い、デジタル放送が受信できることを確認します。
※初期設定については取扱説明書の<初期設定をする>を参照してください。

MEMO
